

開講科目名 / Course	精神看護援助論	
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	杉本 圭以子	
担当教員名 / Instructor	後藤 成人、杉本 圭以子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	精神看護を実践するために必要になる知識、理論、技法について学ぶ。主な精神症状、精神疾患、入院環境及び地域生活支援の知識を整理しつつ、患者 - 看護師関係を基盤とした看護介入の方法を具体的に学習する。	
到達目標	1. 精神障害を持つ人に必要な看護を疾患、生活、ストレスの観点から説明できる。 2. 精神科病院の治療環境の特徴と看護師の役割について安全・人権の視点を含めて説明できる。 3. 精神看護におけるセルフケアのアセスメントの視点を説明できる。 4. 精神障害を持つ人の地域生活支援の実際について説明できる。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探求心と創造力	
授業計画	01. 看護援助の展開 オレム・アンダーウッドのセルフケア理論 02. 精神疾患をもつ人への看護(1) 安全管理、権利擁護、入院形態 03. 精神疾患をもつ人への看護(2) 統合失調症をもつ人への看護 04. 精神疾患をもつ人への看護(3) 双極性障害、うつ病をもつ人への看護 05. 精神疾患をもつ人への看護(4) アルコール依存症、摂食障害をもつ人への看護 06. 精神疾患をもつ人への看護(5) 発達障害、認知症、身体疾患を合併している人への看護 07. 地域における生活の支援(1) 社会資源の活用、多職種連携、退院支援、訪問看護 08. 地域における生活の支援(2) 就労支援、家族への支援、災害時の精神看護、リエゾン精神看護	
その他の授業の工夫	学生自身が主体的に学び、より深く理解するために、アクティブラーニングを組み込む(理解を深めるため、視聴覚教材を多用する。知識の定着を図るため、小テストを実施する。)	
時間外学修	事前学修：次回の学習内容について配布資料や教科書を用いて予習する(10h)。 事後学修：小テストや配布資料を用いて復習し、演習や実習で活かせるように整理する(12h)。	
評価方法と評価割合	筆記試験80%、小テスト10%(締め切り日までの提出と正解率)、提出物10%(締め切り日までの提出状況)	
テキスト	精神看護学2 精神障害をもつ人への看護(メヂカルフレンド社)	
参考書	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2](医学書院) 精神看護学 臨床で活かすケア こころ・からだ・かかわりのプラクティス(南江堂) 看護実践のための根拠がわかる精神看護技術(メヂカルフレンド社)	
履修する上で必要な要件	精神看護学概論、精神看護援助論 を履修済みであること	
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	杉本圭以子：精神科病院、クリニックでの看護師としての経験 後藤成人：精神科病院での看護師としての経験
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	精神科での勤務経験をいかし、イメージしにくい精神科の治療環境や、看護の対象者についてわかりやすく伝える。	